



平成 28 年 6 月 10 日
22 時 30 分 発表
九州地方整備局
熊本県 土木部

白川水系における河川管理体制の強化について（第 2 報）

～洪水から身を守る行動を心がけて下さい～

○5 月 31 日の記者発表「白川水系における河川管理体制の強化について」でお知らせしたとおり、「平成 28 年熊本地震」の影響で、白川では、堆積土砂や流木の影響が懸念されることから、現在、国・県・市の関係機関が連携し監視・撤去を行うなど、河川管理体制の強化を図っているところです。

○今後の洪水に備え、各関係機関が連携し、ハード・ソフトが一体となった様々な対策を実施していることから、その取り組み状況についてとりまとめましたので記者発表致します。

<問い合わせ先>

九州地方整備局 熊本河川国道事務所

河川管理課長 久保田 孝行

TEL 096-382-1111

熊本県 土木部 河川港湾局

河川課審議員 桑元 伸二

TEL 096-383-2507

「平成 28 年熊本地震」を受け、白川では洪水に備え、各関係機関が連携し、ハード・ソフトが一体となった様々な対策・準備を行っています。
本日時点の取り組みは以下の通りです。今後、随時更新・記者発表して参ります。

《国土交通省の取り組み》

【避難勧告等の適切な発令について】

○洪水時には、河川の水位情報や今後の予測等について、熊本河川国道事務所長から首長に直接伝える「ホットライン」を実施します。

【的確な水防活動の実施について】

○近日中に県・市・気象台・警察・自衛隊等の連携を図るため「水防連絡会」「洪水予報連絡会」を開催する予定です。

○また、重要水防箇所等の認識の共有を図るため、自治体や水防団と一緒に「合同巡視」を実施する予定です。

【浸水被害発生時の迅速な排水について】

○洪水に伴う浸水被害に備えて緊急に対応できるよう、九州管内の排水ポンプ車を熊本市内に事前配備しています。（記者発表済み）

○事前配備した排水ポンプ車の操作訓練を実施しました。（記者発表済み）

【河川堤防等に被害が発生した場合の迅速な対応について】

○土のうを備蓄しました。（参考資料①）

○河川堤防等の施設に被害が発生した場合に迅速に応急対応ができるよう、建設会社と災害時等における協力について協定を結んでいます。

【堆積土砂や流木等の監視及び対応について】

○国管理区間の 3カ所において、河道内に堆積した土砂の撤去を完了し、現在、渡鹿地区において土砂を撤去しています。（参考資料②）

○また、河川巡視（1回／2日）と監視カメラ（20台）により、堆積土砂や流木の監視を行っています。（記者発表済み）

○白川上流においては、河川への進入路復旧に併せ、堆積している土砂や倒木を撤去しており、今後も引き続き、河道に堆積している土砂や流木の撤去等を実施していく予定です。

○流木等が有明海へ流出した際には、海洋環境整備船「海輝」「海煌」にて回収します。（記者発表済み）

《熊本県の取り組み》

【予防的避難の推進について】

- 県民の「いのち」を守ることを最優先に大雨等が予想される際の、危険が差し迫っていない段階（日没前の明るいうち）で住民に自主避難を促す予防的避難の呼びかけを実施します。

【的確な水防活動の実施について】

- 近日中に、重要水防箇所等の認識の共有を図るため、市・町や水防団と一緒に「合同巡視」を実施する予定です。

【河川堤防等に被害が発生した場合の迅速な対応について】

- 土のうを準備しました。
- 河川堤防等の施設に被害が発生した場合、迅速に応急対応ができるよう、地元建設会社と契約を行っています。

【堆積土砂や流木等の監視及び対応について】

- 県管理区間において、河川巡視（1回/2日）と監視カメラ（7台）による堆積土砂や流木の監視を行うとともに、適宜、撤去を行っています。
（記者発表済み）

(参 考)

住民の皆様におかれましては、洪水から身を守るために、降雨の際は、行政から発信される水位や雨量、避難勧告等の情報を確認し、早めの避難をこころがけてください。

お住まいの地域のリスク情報、避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで発信しています。

○お住まいの箇所の浸水リスクや避難所の場所等については、お住まいの自治体から出されているハザードマップをご確認ください。各自治体のハザードマップについては、ハザードマップポータルサイトにまとめていますのでこちらからもご覧になれます。(参考資料③)

(HP アドレス <http://disaportal.gsi.go.jp/>)

○雨量や河川の水位等の情報についてインターネット(「川の防災情報」)で発信しています。県管理河川の情報も掲載されておりますので、こちらをご確認ください。なお、今回の地震を受けまして、新たに熊本県管理河川のカメラ画像も5月24日から閲覧が可能となりました。(参考資料③)

(HP アドレス <http://www.river.go.jp/kwabou/>
スマホ版アドレス <http://www.river.go.jp/s/>
携帯版アドレス <http://i.river.go.jp/>



スマートフォン版 QR コード

○自宅の場合は、NHK データ放送によりお住まいの地域の雨量やお近くの河川の水位情報を見ることができます。(参考資料③)

○九州地方整備局では、避難等の行動のきっかけとして、登録ユーザに対して、河川の水位・雨量が基準値を超過すると、アラームメールを配信するサービスを行っています。こちらをご活用下さい。(参考資料③)

○今回の地震を踏まえて、早期の警戒体制を確立し、早めの水防活動や早めの避難を行ってもらうために、4月28日(熊本県管理区間については6月1日)より水防警報及び洪水予報の基準水位を暫定的に引き下げて運用しています。

(参考資料④)

■水防資材の備蓄や排水ポンプ車の事前配備により、万が一に備えます

- 大型土のうを2箇所(計550個)に備蓄するとともに、土のうを2箇所(計1,000個)に備蓄。
- 排水ポンプ車を熊本河川国道事務所 緑川下流出張所に6台事前配備。

0	507.24	6.81	147.2	4.69	101.72
1	547.76	6.72	537.8.10	4.56	557.24
2	552.6.12	6.51	552.6.16	4.52	111.8.29
3	148.18	6.30	556.6.25	4.50	148.18
4	148.7.10	6.28	555.7.20	4.45	148.7.10
5	548.7.22	6.20	548.7.22	4.42	147.7.3
6	118.7.7	6.18	148.18	4.32	148.7.1



渡鹿地区
土砂撤去中

土砂撤去済み

大型土のう
350個

大型土のう
200個
土のう
400個

土のう(300個)備蓄

堆積土砂定点観測

量水表を設置し監視

土のう(300個)備蓄

熊本河川国道事務所緑川下流出張所に
排水ポンプ車6台を事前配備

■河川内の堆積土砂を撤去して、川の流れを改善します

- 国管理区間の3カ所で完了。現在、渡鹿地区の堆積土砂を撤去中。

凡例

- △ : 備蓄箇所
- : 堆積土砂定点観測箇所
- (赤) : 土砂撤去箇所 (済)
- (緑) : 土砂撤去箇所 (撤去中)

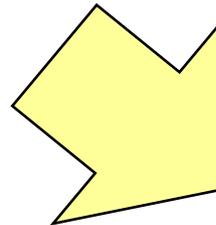
○国管理区間の3箇所において、河道内に堆積した土砂の撤去を完了し、現在、渡鹿地区において土砂を撤去しています



土砂撤去前



土砂撤去状況



土砂撤去後

熊本市代継橋下流(12k000)付近における堆積土砂の撤去状況

ハザードマップポータルサイト

全国の市町村で作成している洪水、内水、土砂災害、高潮、津波等のハザードマップを一元的に検索・閲覧することができるポータルサイトを開設しています。

<http://disaportal.gsi.go.jp/>

国土交通省ハザードマップポータルサイト

「ハザードマップポータルサイト」です。身の回りでどんな災害が起こりえるのか、調べることができます。

住所検索

重ねるハザードマップ | わがまちハザードマップ | 使い方ガイド | 利用規約 | お問い合わせ

重ねるハザードマップ
地図や空中写真に、浸水想定区域や道路情報、危険箇所などを重ねて閲覧することができます。区境、県境もなくシームレスにマップを表示できます。

わがまちハザードマップ
各市町村が作成したハザードマップにスムーズにリンクします。調べたいまちと災害の種類を選んで検索してください。

地デジ(データ放送)による河川情報の提供

地デジのデータ放送でお近くの雨量や川の水位の状況を見ることができます(6/6～ FBS(福岡)、KYT(鹿児島)でも閲覧可能になります)



通常画面

釣川 1.16m **はんらん注意水位**

釣川	大鳴川	多々良川	御笠川	穂井川	那珂川	室見川	雷山川
上釣橋	宮田橋	雨水橋	山王橋	隅田橋	田島橋	下目佐	橋本橋
1.16m	0.79m	0.3m	1.31m	0.04m	0.77m	欠測	1.16m
							0.51m

「川の防災情報」がスマホで閲覧出来ます

- ◆ H28年4月より運用開始
- ◆ 熊本県河川カメラ画像も追加配信中

波良瀬川の水位 (02/22 15:30時点)

河川断面図と水位状況

浸水想定区域

熊本県・千代田区の概況

スマホ版QRコード



河川情報アラームメール

登録された雨量・水位観測所が基準値を超えた場合、メールでお知らせします



登録方法

空メールの送信

メールアドレスを直接入力
もしくは、右のQRコードを使って

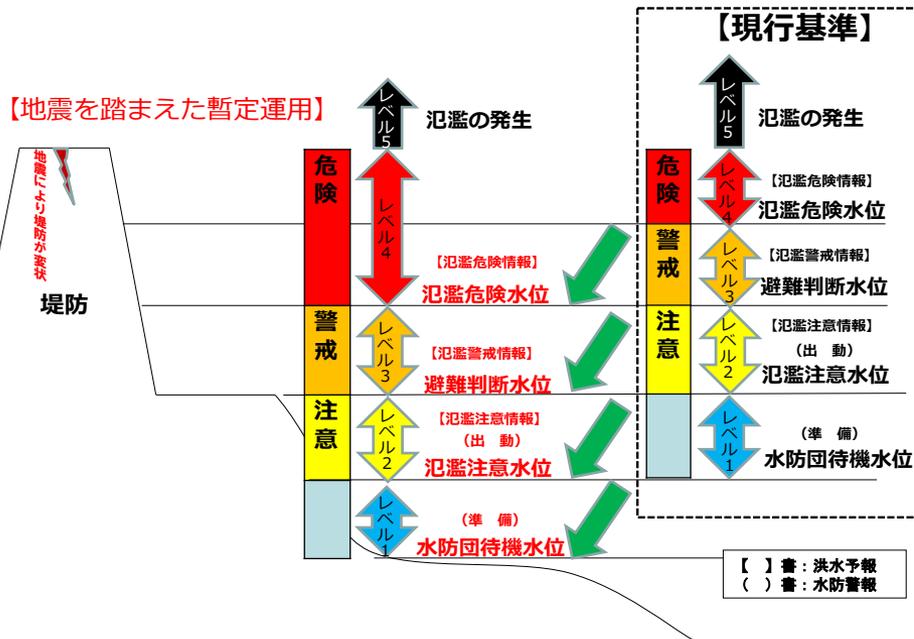
登録用空メール 新アドレス



kasenalarm-entry@qsr.mlit.go.jp

- ・ 早期の警戒体制を確立し、早めの水防活動や早めの避難に資するため、水防警報及び洪水予報の基準水位を暫定的に引き下げています。
- ・ 河川堤防等の河川管理施設の変状を迅速に察知するため、平常時の河川巡視頻度を増やすとともに、洪水時の河川巡視を通常よりも早い段階で開始するなど、出水期間中の監視体制を強化します。

■水防警報、洪水予報の基準水位の暫定的な引き下げ



■国関係：2水系5河川

水系名	河川名	観測所名
緑川	緑川	中甲橋
緑川	緑川	城南
緑川	御船川	御船
緑川	加勢川	大六橋
緑川	浜戸川	城南
白川	白川	代継橋

※4月28日～

■県関係：3水系6河川

水系名	河川名	観測所名
白川	黒川	黒川
白川	白川	陣内※2
緑川	木山川	赤井
緑川	木山川	県津森
緑川	矢形川	嘉島
緑川	矢形川	落合橋
緑川	浜戸川	浜戸川※1
大鞘川	大鞘川	第二大鞘橋

※5月2日～ (※1 5月7日追加)
(※2 6月1日追加)

■河川の監視体制強化

項目	これまで	当面	備考
洪水時巡視の出動基準	氾濫注意水位に達したとき	水防回待機水位に達したとき	
一定規模以上の降雨時	—	大雨警報発令時	降雨による影響を考慮
平常時巡視の巡視頻度	週2回	隔日	高頻度で巡視を実施

平常時の河川巡視



洪水時の河川巡視



平常時・出水時の河川巡視

安全な避難を行うために

- あらかじめ、市町村のハザードマップで浸水や土砂災害の発生が想定される区域など災害リスクを確認してください。
 - 「川の防災情報」等を活用して積極的に情報を収集するとともに、大雨洪水警報、土砂災害警戒情報に十分注意してください。
 - 各市町村からの防災情報に注意し、早めに避難所など安全な場所に避難してください。
- ※特に、熊本・大分地方においては、今回の地震により避難所が被災していたり、避難路が危険な箇所もあります。事前に市町村に確認するなどして、早めの避難に心がけてください。

